



このページは有料広告ページです
株式会社サイネックスによる編集記事ページです

ガスのトラブル

ガスが止まってしまったとき

ガス漏れが原因の可能性があります。まずは火気を消し、全てのガス器具の元栓を閉めましょう。引火のおそれがあるので電化製品に触れてはいけません。異臭などあきらかにガス漏れが疑われるときは窓を全開にして換気し、すぐに契約ガス会社に連絡しましょう。

ガスメーターは、安全のため、異常を感知したときに自動停止する「マイコンメーター」がついています。原因が分かっていて危険がないときは「マイコンメーター」の操作による復旧も可能です。その際は契約ガス会社に電話で状況を説明し、復旧を試みてもいいか相談してみましょう。

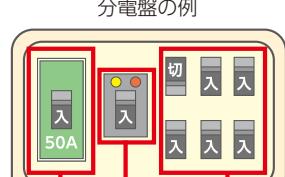


電気のトラブル

突然電気がつかなくなってしまった

ブレーカーが落ちてないか確認しましょう。一般的に、ブレーカーは分電盤に集約されており、通常「アンペアブレーカー」「漏電ブレーカー」「分岐ブレーカー」の三つが備わっています（「アンペアブレーカー」は電力会社によってはない場合もあります）。「アンペアブレーカー」は家屋で使用している総電力が契約電力を上回った場合に落ちます。「分岐ブレーカー」は各部屋もしくは回路別に容量以上の電力が流れた箇所だけを遮断し、家屋全体が停電してしまうのを防いでくれます。どちらの場合も、消費電力の大きい電気機器を停止したうえで、再度ブレーカーを「入」にすれば復旧できるでしょう。

「漏電ブレーカー」が落ちていた場合は、すぐに契約の電力会社か専門業者に相談しましょう。これは家屋内の配線や電気機器が漏電していることを表すので、放置すると火災などにつながり大変危険です。また、古い建物には「漏電ブレーカー」がない場合がありますので、できるだけ早く取り付けることをおすすめします。

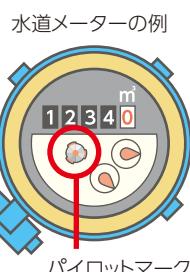


水道のトラブル

マンションなどの集合住宅にお住まいでの水漏れが発生した場合、下の階や共用スペースにまで被害が拡大するおそれがあります。

急に水道料金が上がった

床下など見えない所で水漏れしている可能性があります。家屋にある全ての蛇口を閉め、水道メーターのパイロットマークを確認してください。回っていれば水漏れしている証拠です。漏水量が少ない場合はゆっくり回りますので5~10分程度は様子を見てください。漏水を確認したら、すぐに専門業者か水道局に相談しましょう。



※掲載の記事に関しては、一般的な見解を示したものであり、全てのケースにあてはまるものではありません。